

青森中央短期大学
石巻復興支援コンサート

和泉 宏隆 2days

with 北原 かな子

2台ピアノのJAZZコンサート

日時: 2011年10月14日(金)
10月15日(土)

18:00開場 18:30開演

場所: N's-SQUARE

ご予約: 090-3643-7731 (遠藤)

入場無料

※当日、石巻地区吹奏楽部支援金を一口2,000円で何口でも受け付け致します。
また、専用口座: 青森銀行問屋町支店 普通 3016006
口座名義 青森中央短期大学復興支援コンサート実行委員会 でも受け付け致します。
お預かり致しました支援金は全て、宮城県吹奏楽連盟石巻支部を通じて、
石巻地区の吹奏楽部の生徒さんへ楽器などをお届け致します。

主催: 青森中央短期大学復興支援コンサート実行委員会

共催: &Forest Music

後援: 青森中央短期大学・石巻市教育委員会・河北新報社・東奥日報社・陸奥新報社・三陸河北新報社
石巻日日新聞社・ラジオ石巻・(財)石巻市文化スポーツ振興公社・サンリツ楽器・N's-SQUARE

ICHB東日本放送 エキフェレ TBC 東北放送 仙台放送 Date fm

1958年東京生まれ。

4歳よりクラシックピアノのレッスンを受ける。高校時代にビル・エバンスのピアノに出会い、ジャズピアニストを志す。

1982年にT-SQUAREに加入。1998年退団まで「宝島」「オーメンズオブラブ」など多数作曲し30枚以上のアルバム制作に関わる。

退団後はソロ・ピアノトリオなど幅広く活動。叙情的なメロディーと洗練された美しいハーモニーを特徴とするオリジナル作品は、ヒーリングミュージック・胎教音楽としても高い評価を得ている。

昨年、石川 雅春(ドラム)・コモブチ キイチロウ(ベース)と共にニュートリオを結成

また、ピラミッドのメンバーとしても葉加瀬太郎などとも共演し、レコーディングにライブに活躍中である。



ピアノ:和泉 宏隆
(宝島、オーメンズ・オブ・ラブ作曲者)

1959年秋田県生まれ

4歳よりピアノを始め、秋田の片田舎で歴史の本を夢中で読みながらピアノの練習に励む。

秋田大学教育学部音楽科および上越教育大学大学院でピアノを高橋惇、星野すみれに師事し、1985年4月に石巻西高等学校開校と同時に音楽教師として同校着任。吹奏楽部初代顧問も務める。吹奏楽部員の影響でT-SQUAREを知り、その音楽の虜になる。

その後、本格的な歴史研究を志し、子育ての傍ら1993年から1998年まで東北大学大学院国際文化研究科で比較文化論を学ぶ。1998年9月に国際地域文化論で博士号取得。

現在は弘前藩を中心とした音楽文化研究や宣教師による文化交流の歴史研究に取り組んでいる。

今回は、22年ぶりに古巣石巻でのステージに挑戦する。弘前大学非常勤講師、秋田看護福祉大学教授を経て、現在は青森中央短期大学教授。



2nd ピアノ:北原 かな子
(石巻西高校吹奏楽部 初代顧問)

～今回のコンサートについて一子供たちに楽器を贈ろう！～

四半世紀前、石巻西高の教師だった頃、T-SQUAREの音楽に出会った。西高吹奏楽部員たちと一緒にその音楽にのめり込んだ。私にとって、数多ある石巻の思い出のBGMは必ずと言っていいほど、T-SQUAREの曲である。たぶん、当時の部員のほとんどがそうだろうと思う。

今回の大震災。石巻だけではなく、テレビを通して見る被災地の光景はとても信じがたいものだった。数々、辛いニュースが報じられていく。「石巻のためになにかできることはないか」。こう問いかけた私に、遠藤 信和君は和泉 宏隆さんとコンサートを提案してくれた。「N's-SQUAREにピアノが二台あることを生かしたコンサートをやろうよ」と。四半世紀来、憧れのピアニストであった和泉さんと共演。とても光榮で夢のような話であり、アマチュアとの共演を快諾してくれた和泉さんに心から感謝である。

教え子がプレゼントしてくれたこの企画に、現在の勤務校である青森中央短期大学が非常に理解を示してくれた。全面的にバックアップしてくれて、青森中央短大の学生たちも手伝ってくれることになった。このコンサートはこうして実現した。

石巻まで手伝いに行くと言ってくれた人もいた。石巻まで行きたくても行けないけど、なにか支援できることはないかと言ってくれた人もたくさんいた。みんな、自分にできる何かをしたいと思っている。こうしたみんなの想いをまとめて、石巻で吹奏楽をがんばる生徒さんや先生たちに届けられればと思っている。

青森中央短期大学復興支援コンサート実行委員会 委員長 北原 かな子